



# 国分寺

大変ご無沙汰致しております。この会報がしばらく発行されませんでしたので、皆様とは、總會等特別の会でお会いする以外の方にはお声をかける機会もございません。会員の皆様お変わりもございませんか。お伺い申し上げます。

昭和四十八年五月二十一日、故梅田浩正氏のご尽力で、早稲田大学国分寺校友会が国分寺勤労福祉会館に呱呱の声をあげてから今年で十五年になりました。去る五月十六日には母校の大隈会館におきまして十五年記念總會を開催致しました。

振り返って見ますと、十五年とは長い様ですが、また一方「もう十五年もたったのか」という時の流れの早さに驚かされます。しかし、この校友会の創立に一

## 早稲田大学国分寺校友会の十五年を振り返って

校友会 会長 中藤 俊一 (国分寺市農協組合長)  
早稲田大学商議員

思いをしております。

番のご苦勞をされた梅田浩正氏が、この記念總會を待たずして御他界されたことは、本当に悔やまれてなりません。当時、氏は大学の事務局と国分寺市役所の方々と連絡をとりながら、当時四〇〇名近い方々のお名前を探し出し、自費を投じて連絡し、設立總會にまで漕ぎつけて下さいました。そして私の所にまで足を運ばれて会長をとのお話でした。最初はご辞退したものの、その熱意に負けてお引受けしたのが今日に至っております。

その後、梅田氏は幹事の方々を選んで、月に一回、パークレインのお部屋をお借りして、月例会を開き、いろいろの催しを持って下さいました。その月例会で

は、故人となられた、東洋経済新報社長村山公三先生が、時事経済のお話等もうけたまわり、会員の勉強にもなりました。それ等が実を結んで、会費も集まり、忘年会のオークション等で資金作りをして前途に道が開けた時に梅田氏は病を得て、幹事長職を須田茂雄氏にまかせてからは、会の代表幹事として、三多摩連合会の結成やら、大学側との交渉やらを病の中で一切取りしきって下さり、母校一〇〇周年、二〇〇億募金にも卒先三〇万円を拠金され、校友間を説きまわって努力されました。その成果でしょうか、国分寺在住の校友の応募額は一〇三口、七九八万七千三百円(九月末現在)ということ、その金額は人口の少ない地方の一県よりも多いという結果となり、私も大いに鼻の高い

三多摩二十六市の中十六市に稲門会ができて、活発な活動をしております。国分寺校友会もこのようにして続いて参りましたこの会を大事に育てて行かなければなりません。大学が二世紀目に入り、いよいよ名実共に日本の代表的大学のひとつとして雄飛しようとしております。国分寺校友会の皆さん、若い方も進んで入会され、より一層の親睦と、大学発展の後と押しをして参り度いと存じます。

最後に、当校友会の生みの親、梅田浩正代表幹事が六十二年二月一日に逝去されました。ご家族皆様へのお悔みど氏のご冥福を心よりお祈り致します。

六二年の行事

二月 三日 梅田浩正代表幹事告别式、会長他  
献花、列席、前市長塩谷信雄顧問追  
悼の辞、国立、立川、八王子、府中、  
調布稲門会会長参列。

五月一〇日 所沢人間科学部新キャンパス見学  
(別掲)

五月一六日 国分寺校友会十五周年記念総会を  
大隈会館にて行う(別掲)

六月一六日 第九回三多摩校友会を町田市  
の千寿閣にて開催、黒川副会長、須  
田幹事長参列。

六月二〇日 昭島稲門会会長白川宗雪氏葬儀。  
三多摩各稲門会合同で献花、香典を  
供す。

六月二二日 調布稲門会総会 参列。

七月二二日 保谷稲門会発会式 参列。

一〇月一八日 多摩稲門会総会 参列。

一〇月二四日 立川稲門会総会 参列。

一一月 六日 総長を回む会。鶴巻温泉 陣屋に  
て、会長代理として須田出席。

一〇〇周年記念事業の一つ

所沢の人間科学部新キャンパス見学

五月一〇日(日)、翌一日の開所式を前に、  
校友会に対し公開されました。以前より校友の声  
もあり、一度見学したいという希望があり、学校  
側にもその意を伝えてありました。



三多摩の校友に対して、見学の招待がありました  
が、なか／＼希望しているであろう会員に声掛  
けすることがむずかしく、幹事長の方より一〇名  
程度の方を電話でお話ししました。立川、八王子、  
国立、国分寺、昭島の各稲門会で立川にバスをチ  
ャーターして、これで往復しました。国分寺から  
は呼び掛けで参加された方は、須田、黒川氏、若  
月氏だけでしたが、会場で鈴木氏、笠原氏、高橋  
氏とご一緒になりました。時間も無かったことで  
すが、連絡が悪くて申し訳ありません。後で数人  
の校友より、残念がられました。この様な時に何  
か良い方法があればと思います。

またの機会にご要望があれば、もう一度見学の  
手配をつけてみたいと思います。

新キャンパスの内容はなか／＼この紙面では説  
明することは困難です。数字から申しますと、敷  
地総面積が約七万坪、校舎の延面積が約九千坪で  
その校舎の内が全部つながって南門を入って  
から数十?の大小の教室を通して中央塔まで続い  
ていて、中央付近では迷い子になる仕末です。こ  
の日はご招待という意味もあって、立食パーティ  
ーをサービスしてくれました。

人間科学部のメインということで、設備として  
は四〇〇mトラック一面、公式野球場一面、テニ  
スコート八面、球技場二面を持っておりすが、  
戸塚と違って、その広大なことここで現在使っ  
ている学生が六〇〇人とか、何んとも贅沢な感じ  
で昔の私から見ればうらやましいかぎりです。  
この所沢新キャンパスについては、87年6月号の  
早稲田学報に詳細掲載してあります。

(須田)



## 十五周年記念総会報告

十五周年記念総会を五月一六日(土)大隈会館にて行いました。

出席者(敬称を略します)

安食得郎、板橋恒二、笠原正成、黒川清知、須田茂雄、恒任民男、寺沢和濃、永元作一、野村焼、野村ヨシ子、林久仁雄、堀田博靖、若月啓功、同夫人、助重雄久、山賀理、八王子校友会より一名

府中稲門会より二名

調布稲門会より二名。の計二一名

生憎と中藤会長に急用が出来て出席されませんでした。やはり早稲田まで出掛けるということで出席が悪かったのか、ちよつと出席者が少なかつたようです。

本年は役員改選期でもあり、若月啓功氏を議長に選び、須田幹事長の会務報告、堀田会計幹事の会計報告に続き、役員改選を行い、新役員を次の如く選出しました。

全長 中藤俊一(留任) 副会長 安食得郎

(留任) 黒川清知(新任) 幹事長 須田

茂雄(留任) 副幹事長 箱岩徹 林久仁雄

(留任) 幹事 野村ヨシ子、庄司和俊、田中

康義、森田正記、若月啓功、堀田博靖(留

任) 保坂定男、山賀理、助重雄久(新任)

監査 岡部誠一、小林好覚(留任) 顧問

塩谷信雄、笠原正成、板橋恒二、恒任民男

(前副会長新任) 野村焼、高橋均、半沢滋、

細谷忠至、工藤重忠

今回は十五周年ということで、早大交響楽

団の中より室内楽を編成してもらい、総会の前と、懇親会の間に演奏してもらいました。



またお土産として、記念のテレホンカードを作りました。

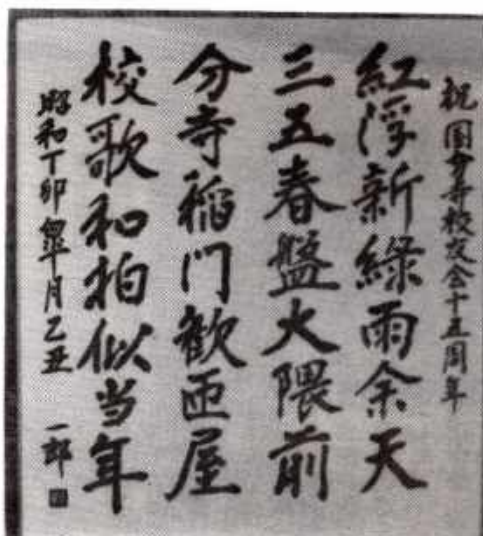
このテレホンカードは副会長の黒川清知氏が学校当局と交渉して、素晴らしい出来ばえだと非常に好評でした。これは一枚が八〇〇円になります(五〇回使用)未だ残部がありますので、ご希望の方にはお分けいたします。お申し込みは須田まで、



分寺国分寺のこと。字数の関係で国を省く。拍に和す手拍子に合わせる。当年の似し当時のようだ。

雨あがり、紅い花が新緑に浮んでいるようで大へんきれいな大隈庭園、今日は十五周年の記念総会のごちそうである。

国分寺校友会の皆さんのよろこびようは大へんなもので、手拍子に合わせて校歌を唱うさまは、まるで学生時代にかえったようだ。



本日お祝いに出席下さる予定の三木一郎先生(総長室考査役)より出席出来ないことのお詫として色紙を送って下さいました。今日は急にいかななくなってしまう残念です。お祝いに一首を献じます。

紅新緑に浮ぶ雨余の天  
三五の春盤大隈の前  
分寺の福門歎屋を匝る  
校歌拍に和し当年の似し  
雨余の天あめあがりの天  
三五十五  
春盤二ごちそう

本部校友会より、各地区の校友会の発展のためにと昨年度は一〇万円、今年度は九万円をくれました。校友会のためということは、とりもなおさず、みなさんのためのものであります。皆さんで知恵をしばって、使い道を考えて下さい。昨年の分は十五周年のテレホンカードの足しまえにさせていただきます。

名簿を新しくするのでまだ、事務局まで通知してない方、またはお知り合いの校友の方にぜひ通知するようすすめて下さい。送り先は 東元町一丁目十七番十六号早稲田大学国分寺校友会にお願ひします。お名前とご住所と卒業年度と専攻学科とお勤め先です。

年会費をお払込みいただける方は 第一勧業銀行国分寺支店 普通預金口座(275-1325188) 多摩中央信用金庫 普通預金口座 (01-4808455)

須田茂雄が四年前に皆様の御支援を戴き国分寺市議会議員に当選させていただきましたながら、今回は勝手に立候補を取り辞めましたこと深くお詫申し上げます。東京恵明学園の園長として生涯を送りたいと念じておりますのでよろしくご海容下さい。申し訳無いことですが、この紙面をお借りしてお詫申し上げます。

そのためと申しましようか、議員時代にはなかなか会報を発行する時間がございますでしたが、今度は年に一〜二回は皆様のお手元にお届けするようにいたします。

八月頃、中藤会長が腹部にできものができ、手術をされ、現在はまたお元気に農協の組会長に座っていらつしやいます。

今回の会報は忘年会までに間に合わせるため、大分、雑になったようです。これからは皆様の原稿をいただきながら、読み手のあるものにしたいと思います。

編集・印刷責任 須田 茂雄